（一日夕刊）

休刊　大祭日　第一　第三日曜
定價　一部　二錢　郵税　一ケ月　六十錢　十五錢
廣告料　卷行六十錢　指定廿錢　增
福島縣平町田町十六番地　發行所　磐城新聞社　電話五六四番
發行兼編輯印刷人　遠沼能輔

思ひ出草（41）

哲

古いスクラップブツクから

上川丸船中

（大正八年秋稿再び樺太への一齣）

○

彼は空壜をゴロリと後ろの方へ轉ろがして寂しい心になつた、そして今度は大泊へ上陸した時から絶對に禁酒をしよう、そうでなければ此の前に居た時の二の舞ひをせねばならぬ、雪辱戰杯とは思ひもよらぬ事だ杯と思つたりした。

彼は一同の濟んだ後で飯を食べだが什うも物が胸に閊へてゐる樣で具合が惡かつた。

彼は横になつて電燈を凝視め乍ら一の旋律をなして聞こえて來る機關の音に聞き入つて強いて心を浮き立たせようと愉快な事を想ひ出さうと努めたが更に興が乘つて來なかつた。

彼は傍の女を瞥然と眺目に眺めつたが大抵からかひ悉くして終つたし更に恁うした女を相手にしたらな話を試みる氣にはなれなかつた。

自分の生家にあつても芝居觀や活動に入つてほろりする樣な處を見ると今頃は什麼夢を見てるだらうなどと親や兄弟の事を想ひ浮べる彼は家を出て四日目、船中の夜を泌々其等の人の身の上を思つた。

心配好きな伯母は自分の安着の報らせの行く迄は夜もおちく眠れまい、杯と思つては三十男の而も心の荒み切つた彼乍ら譬へ方ないメランコリイな氣持ちにならずには居られなかつた。そしてこの位故郷思ひの自の悲哀を發見するのであつた。

彼は心に思つた、而立である、假令總領でないにせよ之れ迄澤山親に心配苦勞をかけた自分は親を顧みる必要は無いとは云はれぬ。

舍兄以上の孝養を胸まなければならぬ筈である、妻帶もせねばなるまい。

思ひはそれからそれへと容易に盡きなかつた。

附近からははや靜かな鼾息さへ起るのであつた、不

短歌

アラヽギ發行所にて（即興）

島田忠夫

おどろきて吾をむかへ聲をかけくれし土屋文明の大き眼はも

文明先生をかこみ門弟子多く集れり昔はわれもかく集へりし

赤彦追悼歌會に歌論しいたく爭へる吾を許したまふらし

ほがらかに笑ふ赤彦の傍らにかく居ることをたぬしと思ふ

滿州旅行に立ち居るといふ茂吉先生白ひげまじるを寂しみまさむ

新聞社の用もちてきて了へしかば描き歌を吾は見て貰ふ

茨城の鑛泉にゆきて浴みゐし赤彦先生の話もいでつ

みちのくに歌を怠けて住む吾をかへり見る時さびしきろかも

眠症の彼は泌々斯うした窮だ屈な旅中に在つて尚ほ圓らかな夢を結び得る人達の幸切られたなりでウム！迂鳴つて居ります、呼吸のある奴を端からズブリッ

彼は起き直つて船窓から恐ろしい初冬の夜の海の面を眺めた。

窓の外は眞つ暗で舷に碎くる波の音のみ驟雨の如く持つて參つた、若黨紋次郎機内早馬て飛付けた、李平の死骸も同じく其處へ並べが安兵衛の方から戻つて來て樂てたとは前代未聞の仇

○

展轉反側容易に寢つかれなかつた船の夜は明けた。睡眠不足で疲れ切つた彼はたが、仇は打つたと云へ六の前に労れく彩しい眼花郎右衛門の死骸を見ては又るのであつた。

あと僅かで大阪へ着くと云ふので船中の人の氣分は一樣に緊張した、身の廻りを片附けるやら甲板へ出るやら一同は更に氣が落ちつかなかつた。

彼は揚板を喇へ乍ら甲板へ出たが冷々する潮風は漸く樺太に近づきづつあるを頷かしめた。

（今月今日）

〈徵兵令發布、全國皆兵天子之が大元帥たるは我邦古來の兵制である（明治五）〈澤庵禪師生る、但馬出石の人幕府の嫌忌にふれ出羽に謫せられたが後家光將軍の歸依を受け品川東海寺を創す〉風江戸に揚る（天正元）茨城縣鹿島近海に鯨群來百餘頭を捕獲す（大正一五）

講談

新説安兵衛

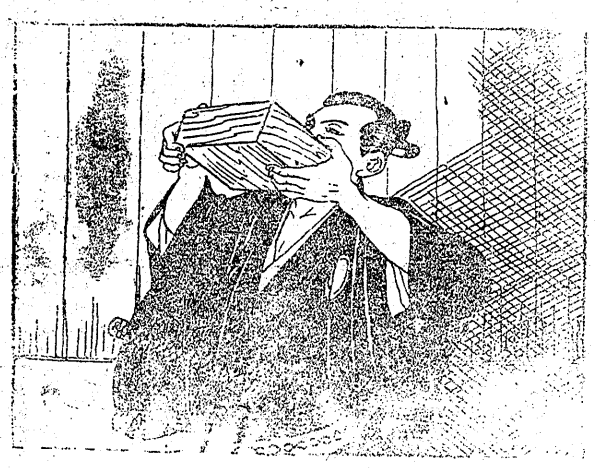
東京　桃川燕二演
村田月光畫

（一一五）

安兵衛廻つてみると、まとして居る

『まことに失禮仕つた拙者は越後新堀田の浪人中山安兵衛武庸と申す者是に打果されてゐる浪人は拙者義理の祖父に當る菅野六郎右衛門、又若き男は六郎右衛門の召使ひ若黨紋次郎、拙者は浪人八丁堀岡崎町に浪宅を構ゆるものでござるが今朝六郎右衛門より書面を得たるところ、村上庄左衛門同苗三郎右門の兩人より果し合を申込まれたとある拙者が飛び付けたるときは六郎右衛門は既に兇刃に斃れた跡、それ故祖父の仇庄左衛門を始め助太刀の面々を斯樣に討取つたのでござる』……『それは天晴次第なれども天下の御法でござる兎角も役宅へ御同道下さる樣、細を充分取調べ

かし遊ばし、夫是にて此ても生前に認たる差屆書が果し合に間に合はず、闇出してござる依つて兩名の村上兄弟の手に掛けたる死骸は手前屋敷に引取るこ段、幾重にもお詫仕る』生とに致す』……『左樣でこける人に物云ふ如く、涙なざるか、死骸の義はお引取がらに回向を致したる後：



り勝手次第』六郎右衛門と紋次郎の死骸は右京太夫殿れたものでない』

ととどめをさして歩く、其ねば一方は死人、片口では後村上兄弟の首を切つて菅捌きが付き申さぬ』其處へ野六郎右衛門の死骸の側へ松平左京太夫殿御目付が倉め死者が十八人あつた、一持つて參つた、若黨紋次郎機内早馬て飛付けた、李平人の安兵衛が十八人を切つの死骸も同じく其處へ並べが安兵衛の方から戻つて來て樂てたとは前代未聞の仇赤細の一刀は拭ひを掛けて始めて六郎右衛門の屆書討、官代も奉行も舌を奪いピタリ鞘に納め、六郎右衛を權内の役宅へ出したので門の前にピタリ兩手を付いて驚いたと云ふ、扨安兵衛これを見ると淺倉權内も打は伊奈半右門と共に代官役直に馬に飛乘つて來たのだは伊奈半右門と共に代官役が、安兵衛でさへ間に合はは入つて來ると……『お役人なかつだのだから權内の聞かはいで仕方がない、水を一杯飲んで參りたう存ずるが如何』別段罪人と云ふ譯ではない……『御由にお飲みなさるがよい』……『左樣か』其前に酒屋がある安兵衛水を飲みたいのでは無い酒を飲みたいのだ、忽ち其の酒屋へ飛込んだ、亭主來て見ると着てゐる着物などは血だらけの眞赤、驚いてブル〜震えながら——『お出でなさいませ』……『亭主酒を一升くれ桝でよい』……『急ぐぞ表には役人が待れてゐる』云はないでも表には二三十人の立はだかつて家の中を覗き込んで居ります……『ヘエ〜是れで宜うございますか：』……『ア、好い〜、何時みてもよいものだ、ブーンと鼻へ來るところ如何とも云へぬ』升の隅へ口を付けると、グッグッグーッと一と息に一升やつて終ふ——『最う一つくれ』——『ヘエ』又一升注いで來ると夫も同じく一と息』……『最う一ツ』幾ら飲むか知

引取ることゝなつたが、跡を調べて見ると村上兄弟始め死者が十八人あつた、一人の安兵衛が十八人を切つて樂てたとは前代未聞の仇討、官代も奉行も舌を奪いて驚いたと云ふ、扨安兵衛は伊奈半右門と共に代官役入つて來ると……『お役人に願ひござる何分咽喉がかはいで仕方がない、水を一杯飲んで參りたう存ずるが如何』別段罪人と云ふ譯ではない……『御由にお飲みなさるがよい』……『左樣か』其前に酒屋がある安兵衛水を飲みたいのでは無い酒を飲みたいのだ、忽ち其の酒屋へ飛込んだ、亭主來て見ると着てゐる着物などは血だらけの眞赤、驚いてブル〜震えながら——『お出でなさいませ』……『亭主酒を一升くれ桝でよい』……『急ぐぞ表には役人が待れてゐる』云はないでも表には二三十人の立はだかつて家の中を覗き込んで居ります……『ヘエ〜是れで宜うございますか：』……『ア、好い〜、何時みてもよいものだ、ブーンと鼻へ來るところ如何とも云へぬ』升の隅へ口を付けると、グッグッグーッと一と息に一升やつて終ふ——『最う一つくれ』——『ヘエ』又一升注いで來ると夫も同じく一と息』……『最う一ツ』幾ら飲むか知

ラヂオ番組

東京　JOAK

〈午前七時ラヂオ體操〈大阪より中繼〉　九時氣象通報　△九時十分日用品値段、料理献立（小鯛の菊花蒸し）一戸伊勢子發表　〈十時三十分家庭講座（火事のときの應急策と平素の心掛け）警視廳消防部長内田傳藏　正午時報　午後〇時五分蓄（鼠穴）立川談志

〈〇時四十分ニュース、放送局編輯、日本電報通信社、警視廳　〈二時家庭大學講座、萬葉集講話第十一講（萬葉人と旅行）文學博士佐々木信綱　〈三時四十分氣象通報　四時ニュース、放送局編輯　〈五時四十五分職業紹介事項　〈六時（子供の時間）『童話と長唄』第一部（小學校二學年位までの方々のため）童話『だいへんだたいへんだ』久門嘉佳　第二部（小學校三學年位から上の方々のため）長唄『若菜摘』唄福井きみ子（十二才）三絃藤江多惠子（十五才）　〈六時三十分英語講座（大阪より中繼）中等科第六講の一、金田忠藏　七時ニュース、官省公　事項放送局編輯、國民新聞社

七時二十五分產業ニュース　連續講談（梁川庄八）第二席柴田南玉　獨唱と管絃樂　一、歌劇『ファウスト』圓舞曲　二獨唱　イ、ロ、三、歌劇四、獨唱　浪花節（中野消防手　〈九時四十分時報、ニュース、放送局編輯、氣象通報

仙臺　JOHK

〈九時十分料理献立、シンナンモウチウ及川梅子發表　日用品値段　〈午後〇時四十分ニュース、氣象通報、告知事項　五時四十五分今晩の番組豫告　△七時ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項　〈九時四十分番組豫告、告知事項

障子紙　屏風紙　唐紙　壁紙

いろく取揃へ大勉強販賣

平町土橋　福麥マルマン商店　電話四八九番

夜診療間

胃腸　内科　十二指腸虫病　專門部　内科

極毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門部　外科

性病　胃腸病　松村科醫院

（平南町電話一〇七番）

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町四丁目和泉屋旅館　須藤まつの

入院隨意（自炊の便あり）

X光線科　外科專門

平南町　上田醫院

病室完備　電話一二九

學生外套特賣

酷寒・强雨ニモ耐ヘ生地型・仕立百・パーセントの黑ラシヤ外套特價提供

中學用（極上）8圓50錢より
小學用（同）5圓50錢より
全部頭巾付

平　電203　洋服店　あかや

平町田町　高久病院　電話五一三番

醫學士高久忠清　新潟醫學士赤羽菊雄　藥劑士佐竹清

內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

其の白熱的賣行は何を物語るか？

左の病む人々に勸む

一、肺病、ロクマク、神經衰弱、胃病、婦人病、營養不良、に對する特異の靈効を有す。

直ちに御試用を乞ふ。

平町五丁目角　縣下一手販賣店　山野邊藥局

定價　試用分　一、二〇　約廿日分　三、〇〇　約四十日分　四、〇〇

皆樣の

スピードの御用命は

電話三四三番へ

使用車は二〇年式セダン型です

何卒御用命を願ひます

平驛前　昭和タクシー

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店

金物問屋　和洋銅物　久釜屋商店

磐城國平町五丁目　電話九番　九九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

平新川町十九　木村病院　電話一六四

科、婦人科　院長木村寅次郎　女醫本村コウ

內臟外科整形外科　醫學士松永憲一　藥局東京藥學士萩原駿二

鼻耳咽喉科專門　日本醫大院長醫學士鈴木正男

齒科口腔外科　日本齒科科長醫學士鈴木喜致

下谷區入谷町二九一　入谷改正通り東交番前

鈴木醫院

月曜論壇

不合理な線香代

物の値だんが下れば之れが生産に參加する人間の値うちはそれ以上の割合を以つて低下する、最近郡下の醬油醸造組合が一升五錢の値下げを行ふに方り雇人の給料を二割方引き下げたが如き最も顯著なる實例の一疎なり、天は時々雪を降らせ地は凍つて寒威は次第に亦日曜で出勤は新年宴會翌つつであつて物價の低落は取つも直さず經濟學的に觀たる人間の値うちの下落を寓意する

○

物價低落卽人間の價値低落、之れが否まれぬ理窟である以上物落の低落之れより甚しきは無いと思はれる昨今に於て單り所謂藝妓なるものに就てのみ人間下落の例外を認めると云ふ事は蓋し條理上ゆるされぬ實在であらねばならない

○

由來物の價値に要する第一の條件はその物の効果である、而してその供給の稀少性を有する處にその物の價値がより多く抱心さるるわけで假令水や空氣が如何に人間の生存上効果あるものにせよ彼の如く無制限に供給し得らるるものであつては之れに對し經濟學上多くの所ゆる價値を認める事は出來ない。之の論法を以てすれば稀少なる需要に對して供給の餘りに豊滿なる平町の藝妓なるものに所謂價値の多くを認める事は其間些か面倒になつて來る

○

淺薄なる經濟論を振り廻すでもないが彼の好況時代に於てすら四五十錢内外であつた平町藝妓の玉代が血みどろな今日の狀態に於て六十七錢とは何としても彈き出されぬ算盤である、而もその不合理は直に之れが需要の遞減となりその結果は各料理店をはじめ裝身具商湯屋髮結其他等、等その影響蓋し測り知るべからざるものあつて我れと不況の上塗りをする結果に陥する事豈敢て識者を俟つてのみ發見さるべき問題ではない

○

時まさに師走、ボツ〳〵宴會でもあらうとする時に方り敢て組合の一考を煩はす

賞與話に花が咲いて ストーブ續る嬉い顏

今年も今日から師走に入り 明暗二樣の悲喜劇は捲起る

元旦の式に一寸顏出しする山恐せ水凋れ光景極めて寂つく赤い旗赤丸澤山な立てて看板、各商店一樣に持ち品の現金化を急ぐ緊張振りはそうした物に迄現はれて牛ある以上物落の低落之れより甚しきは無いと思はれる昨今に於て單り所謂藝妓なるものに所謂價値の多くを認める事は其間些か面倒になつて來る

○

淺薄なる經濟論を振り廻すでもないが彼の好況時代に於てすら四五十錢内外であつた平町藝妓の玉代が血みどろな今日の狀態に於て六十七錢とは何としても彈き出されぬ算盤である、而もその不合理は直に之れが需要の遞減となりその結果は各料理店をはじめ裝身具商湯屋髮結其他等、等その影響蓋し測り知るべからざるものあつて我れと不況の上塗りをする結果に瞳する事豈敢て識者を俟つてのみ發見さるべき問題ではない

○

時まさに師走、ボツ〳〵宴會でもあらうとする時に方り敢て組合の一考を煩はす

地主の不承諾で學校道路行惱む

決定を待ちあぐんで父兄間に非難高まる

平第三小學校道路問題は過般第二町會では十六對十四で第一案(西側)に纏り其後上町會の決定を見たるが非常に多くなつて來た物は何れも無許可で今更二の例外を認めると云ふ事は等は日出でゝ三竿九時頃に及び入るなり眼鏡の曇るほど温まつた事務室で寄るとすべく今より種々取締對策を講じてゐるが一方年の瀬始の一風景である

地主家主諸君に

〈縣下の重なる市街地では物價下落に伴ふて、家賃地代の値下げ運動が、それ〴〵行はれ、相當の値下げ

一二軒か二三、所位の土地でも知らん顏をして商賣を貸してゐるものは店子やし借所人が少數の關係から

『他所では二割方値下げしたがうちの大家は知らんふりをしてゐる』などと井戸端會議の議題に上る位だから

七、其他雜件

産業組合

宣傳映畫

郡内を巡廻す

郡産業組合では産業組合趣旨宣傳普及の爲入場無料で左記日割の下に宣傳映畫公開一般の來觀を歓迎すると

五日午後六時から渡邊村

新妻町長以下

漁港完成運動

けふ連袂出臨

四倉町新妻町長外全町議及有志數名は今一日午前八時二十分の列車にて目下開會中の縣會に漁港完成の促進運動を試むべく出臨した

六日同勿來町、七日同夏井村

夏井消防檢閲

夏井消防組では三十日午後五時非常召集を行ひ平署から鯨岡警部補出張檢閲をなしたがこれを以て今年度檢閲の最終とすると

狩獵法の改正で

空氣銃の賣れ行き減

稅金關係で廢物になる

石城郡下の二百數一挺

郡産業組合では産業組合趣

運轉中突如立往生

全國稀有の鐵道事故で

平驛に五十五分遲着

一日午前八時三分平驛着郡山驛發上り第十二號旅客列車が磐越東線三春驛を發し船曳驛に向つて疾走中突然機關車に故障を生じ列車運轉不能に陥つて立往生したが急報に依つて郡山機關庫から救援機關車が出場し辛じて平驛まで運轉を續けたが此の爲め該列車は平驛に五十分遲着し同線上下各列車の運轉系統は極度に亂れた事故發生の原因は機關車のメントランクが切斷した爲めだが列車運轉中斯る事故の發生は全國でも稀有の事である

救濟袋を配付

四倉町花澤賢有氏は同町貧困者

稅務主任會

明二日開催

各町村稅務主任會は二日午前九時から郡農會樓上で開催左記協議事項に關し協議をなす由

一、家屋賃借價額決定に付て認定價格訂正に關する件

二、同上決定後に於ける新設改築若くは一部取毀等の取扱に關する件

三、同上家屋の調定、臺帖の加除訂正に關する件

四、家屋賃貸價格調査委員會との關係の件

五、徴稅事務改正に關する件

六、稅務出張所開設後に於ける事務の處理聯絡改善に關する件

七、其他雜件

産業組合

宣傳映畫

郡内を巡廻す

郡産業組合では産業組合趣

投書歓迎

檢

蕃殖牡馬健診

郡産馬組合で

郡産馬組合では馬の傳染性貧血豫防遏の爲め郡下一圓に渉つて蕃殖牡馬健診を行ふ由であるが日割り決定の分次の如し

〈八日午前九時から一時まで川前村小白井方部一圓を産場惣代宅前で

午前九時から二時まで川前村柳賣一圓を柳賣市場前で

の爲自ら發起人となり四倉人事相談所並に四倉町役場後援の下に近く救濟袋五百個を町有志家に配布して應分の喜捨を受け貧民救濟に資する筈であると

平館の慈善興行

三日間に亘り

震災義金募集

平館では今一日より三日間に亘り豆相震災救濟金募集の慈善興行をなすがプログラムは

清川莊司、川上彌生『戀模樣』八雲恵美子、岩田祐吉レビューの『姉妹』市川右太工門、鈴木澄子『命の灯』

で入場料は普通席十錢であると

〈十日九時から二時まで柳賣川前方部一圓同所で

遊廓へ繰り込む

自動車内で亂暴

雨中運轉手の御難

酔漢平署で取調べ中

平町一町目松崎自動車店へ三十日午後十時頃赤井村小玉川水力電氣工事場だが貸竹の家のお鯉さんと三島屋

遊廓へ繰り込む

自動車内で亂暴

雨中運轉手の御難

酔漢平署で取調べ中

平町一町目松崎自動車店へ三十日午後十時頃赤井村小玉川水力電氣工事場だが貸竹の家のお鯉さんと三島屋

あるので嚴しく問ひ詰めたで一先づ調査を打ち切つた處如何にも辻褄が合はぬのと

限り少しお裾分けをしてはいただけませんかしらネー

いことになるようだ。㊙關係における經緯を巨細に凝視するとき社會相の裏面の如何にも難してゐるかを窺ふことが出來る、恐ろしい思想問題などつまらんと思ふ所に胚胎していくことに氣がつくであらう、地主と借地人、家主と店子の關係が圓滿にいつてゐることは社會問題の上からして非常に喜ばしいことだ、この際出來得る限り地主、家主の稚量を見せて頂きたい

（一町民）

野犬買ひ上げに惠まるゝ失業者

けふから平署で

徹底的狂犬豫防施設

年々狂犬に咬まれ命を失ふ者がかなり多く當局者はこれが一掃に腐心してゐるが平署では今一日から一週間

縣警察部内務省後援の下に管内全般に渉り野犬狂犬撲殺を勵行するが同時に狂犬病に遭かされた場合の豫防注意、苦犬上の注意等詳細を極めた宣傳ビラ四萬枚を配付主旨の徹底を圖る外三日午後一時から署會議室で縣衛生課長巽史氏の講演會を開催し一方苦犬として立派な鑑札のある犬でも繋留して置かぬものは總て野犬と見做し一匹二十錢の割で之れを買上る筈ですでに開始第一日の今朝早々持參した者があつたが二匹を賣れば一日の生活費はある譯で不況の折柄貧困者失業者に依り隅なく漁り出される結果徹底的野犬狩りが行はれるものとされてゐる

接客業者健診

四倉警察署では今一日午前九時より管内各料理店女中女給酌婦、理髮師其他接客業者の健康診斷を行つた

怪しい盜難居

好間村小田炭礦運搬夫同村中好間居住佐藤勇雄(四六)は二十九日午後九時頃慌ただしく平署へ出頭し同日午後七時頃泥棒にはいられ現金七百圓衣類數十點價格四百圓を強取された旨を訴へ出たので平署員が急行嚴重取調べた處賊の忍び込んだ形跡ないばかりか申立曖昧な點がこの不況時に、でも羨しい

運轉中突如立往生

全國稀有の鐵道事故で

平驛に五十五分遲着

一日午前八時三分平驛着郡山驛發上り第十二號旅客列車が磐越東線三春驛を發し船曳驛に向つて疾走中突然機關車に故障を生じ列車運轉不能に陥つて立往生したが急報に依つて郡山機關庫から救援機關車が出場し辛じて平驛まで運轉を續けたが此の爲め該列車は平驛に五十分遲着し同線上下各列車の運轉系統は極度に亂れた事故發生の原因は機關車のメントランクが切斷した爲めだが列車運轉中斯る事故の發生は全國でも稀有の事である

救濟袋を配付

四倉町花澤賢有氏は同町貧困者

赤井凧

ラヂオのスピーカーに有り丈けの聲を出させて客を呼ぶ事に狂的な廣告戰術を盡してゐる師走の夜の平町に寒さと年の瀬は遠慮もなく忍び寄つてくるが客はまばらに或る淋しさを感づるその中に二人の女性と見えて冬仕度でもするのか嬉し相に中野から三井へと覗いて歩いてゐましたが

廣告

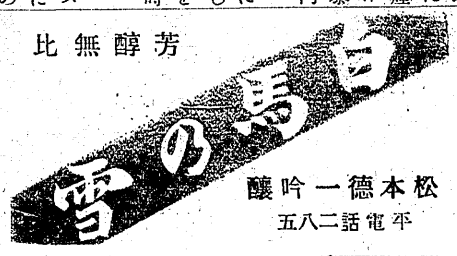
藤沼醫院

院長　藤沼平十郎

平町紺屋町電五〇七

片曾根村今泉島帽子石二五五石井ミヱ(三)

平町南町三四若松郡甲賀町一二九蒔絵業川副安吉(五二)



芳醇無比

松本德一吟釀

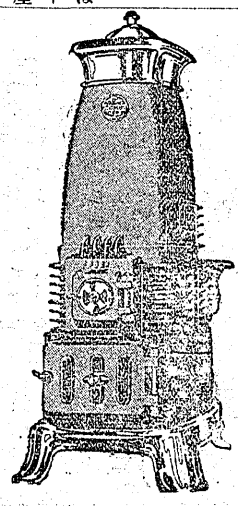
平電話二八五

婚姻

東京市本郷區元町一丁目元會社員山本悌明(二〇)平町新川町二〇草野ヤマ(二三)

▲死亡

平町古鍛治町三〇田村郡



嚴冬征服の王者

◉ストーブハフクロク、ストーブヲ御選定下さい

一、最モ安イ石炭デ最モ良ク燃エルストーブハフクロク右ニ出ヅルモノハアリマセン。

二、石炭商ノ立場ヨリ各種ノストーブヲ嚴密試驗ノ結果始メテ理想的フクロク・ストーブヲ見エ出シマシタ

御希望ノ御方ヘカタログヲ持參シテ御説明申上マス何卒御下命ノ程ヲ

平停車場前

福島縣總代理店

阿部石炭商店

電話一二三七番

吉田眼科病院

平町紺屋町

齒科一般口腔治療

夜間モ診療致シヤス

平町白銀町十五停車場通り鐵道官舍際

丹野齒科醫院

日大齒科醫學士　丹野淳

一圓十錢のフランス

マルソー會社元詰

マルソー、ブランク

マルソー、ルージ

優良にして安價賣行き飛ぶが如し

平二　西村屋藥店

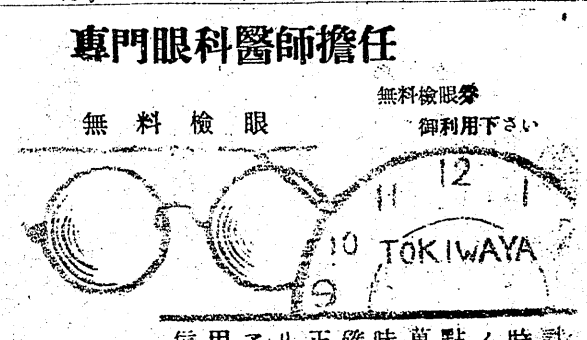
おはなし三番

專門眼科醫師擔任

無料檢眼券

無料檢眼

御利用下さい



信用アリ正確萬點ノ時計

御客樣ノ位ノ眼鏡

常盤屋時計店

平壹　電三三九